



京都切り絵歳時記

月刊 あじえんだ 5月

2007年



みやこ
京のアジェンダ21フォーラム 事務局通信
月刊あじえんだは当フォーラムの活動紹介を中心とした
京都発、環境関係の情報発信紙です

事務局 〒612-0031 京都市伏見区
深草池ノ内町13
京エコロジーセンター2F
活動支援室内
TEL:075-647-3535 FAX:075-647-3536
E-mail:ma21f@mbx.kyoto-inet.or.jp

事務局 〒604-8101 京都市中京区柳馬場通
御池下ル柳八幡町65
京都朝日ビル4F
京都市総合企画局地球温暖化対策室内
TEL:075-211-9281 FAX:075-211-9286

京のアジェンダ
21フォーラム

京のアジェンダ21フォーラム 平成19(2007)年度総会のお知らせ



当フォーラムの平成19(2007)年度総会を、
右記の通り開催します。

当フォーラムでは最近、団体会員としてKES
を取得された事業者の方の新規入会が増えて
います。会員の方々の所在地も京都市内にとど
まらず広がりを見せていることから、今回の総会は交通アクセ
スを考え会場を京都駅前としました。

総会には、会員の皆様はどなたでもご出席できます。まだ当
フォーラムのWG(ワーキンググループ)の活動やその他の催
し等にご参加されたことのない方も、どうぞお気軽にご出席く
ださい。後日出欠票を会員の皆さまに送付させていただきます
ので、ご返信をよろしくお願いいたします。

また、総会終了後には、恒例の会員交流会「サロンdeエコ」
を開催します。総会と同じ会場で行き続いておりますので、こ
ちらにもお気軽にご参加ください。会員同士やWG間の交流の
場として、また当フォーラムの幹事に会員の声を届ける場とし
て積極的なご参加をお待ちしています。なお、交流会は立食形
式で、お料理等はKESを取得している「京都センチュリーホ
テル」様のご協力により提供いたします。

■平成19(2007)年度総会

- ・日程 6月15日(金)
- ・受付開始 17:30~
- ・時間 18:00~19:00
- ・場所 ぼる・るプラザKYOTO 7階 スタジオ1
京都市下京区東洞院通七条下ル塩小路町676-13
JR京都駅前 TEL:075-352-7444
<http://www.mielparque.or.jp/kyt/kyt01.html>
- ・主な議題(予定)
 1. 平成18年度事業報告と決算報告について
 2. 平成19年度事業計画と予算について
 3. 役員改選について

■会員交流会「サロンdeエコ」

- ・時間 19:15~20:30
- ・場所 ぼる・るプラザKYOTO 7階 スタジオ1
- ・会費 500円(立食形式)



平成18年度総会の様子



平成18年度総会後の「サロンdeエコ」の様子

京のアジェンダ
21フォーラム

平成19(2007)年度会費納入のお知らせ 事務局



事務局より会員の皆様に、平成19年度の会
費の納入をお願い申し上げます。会費は1口あ
たり年間1000円で、個人会員の方は1口以上、
団体会員の方は2口以上で入会時に納入をいた
だいています。会費の納入には、右記の郵便振
替または銀行振込をご利用ください。

なお、会員の皆様には、会費納入のお願いとあわせて、郵便
振替での納入に便利な振替用紙を別途送付させていただきます
のでどうぞご利用ください。

- 郵便振替口座
00960-7-143508
京のアジェンダ21フォーラム
- 銀行振込口座
三菱東京UFJ銀行京都支店 普通5468383
京のアジェンダ21フォーラム

Agenda
Forum
5月の
ミーティングと
主催行事の予定

- 7日(月) 15:00~17:00 企画会議(市役所E会議室)
- 中旬 時刻未定 幹事会(場所未定)
- 21日(月) 16:00~18:00 自然エネルギーWG 運営会議(気候ネットワーク)

4月18日 企画会議を開催

2007年度事業計画について議論 2010年に向けた活動方針の具体化はじまる
地球温暖化対策の評価検討プロジェクトチームや脱温暖化キャンペーンなどを計画

フォーラムでは、只今、6月の総会（1ページ記事）での決定に向けて、2007年度の事業計画づくりが活発に進められています。先月号に掲載の2010年に向けた「複数年度にまたがる活動方針」の幹事会決定（3月20日）を受け、企画会議で2007年度の事業計画を十分に議論し、さらに幹事会で事業計画案を検討し総会議案をつくるプロセスが進行中です。

活動方針や事業計画の策定にあたっては、2006年度から実施のフォーラム改革のひとつとして動き始めた企画会議が重要な役割を果たしています。「複数年度にまたがる活動方針（案）」も企画会議から幹事会に提出されたものです。

2007年度事業計画の決定に向けては、企画会議では、必要な議論・検討を行うため複数回の会議を開きます。まずは、4月18日の企画会議で、以下に紹介する（WGでなく）フォーラム全体として実施する事業の計画についての重点的な議論が行われました。さらに次回、5月7日の企画会議で、WGで実施する事業計画（WGプロジェクト）について企画会議としての重み付けに関しての考えを整理します。

そして企画会議での議論を踏まえた内容の事業計画案を5月に予定している幹事会で検討し、総会に諮る事業計画方針案を決定します。

●4月18日企画会議：フォーラム全体で推進する事業について議論

4月18日（水）、市役所寺町第4会議室において、企画会議が開催されました。主な議題は2007年度の事業計画案の検討で、今回は（WGでなく）フォーラム全体として実施する事業の計画について重点的に議論されました。活発な議論の結果、幹事会・総会で決定する事業計画に対して主に次の取組を提案することになりました。これは先月号でお伝えした2010年に向けた活動方針の中の「長期展望の策定とその実現に向けた取組」を具体化するものです。

○2007年度事業：地球温暖化対策の評価検討プロジェクトチーム会議の開催

(1) 背景：京都市環境審議会の地球温暖化対策評価検討委員会に委員を派遣中

当フォーラムは田浦常任幹事を同検討委員会に委員として派遣し、京都市と緊密に連携して「京都市地球温暖化対策条例」（2004年12月制定）に基づく地球温暖化対策の実現状況の評価に参画しています。

(2) 期待：実現状況を受けて長期的な視点から実現方策の具体的な提案を行うのがフォーラムの役割

当フォーラムは、『京のアジェンダ21』を推進するパートナーシップ組織として、地球温暖化対策の具体的な実現方策を提案し、また自身で（パートナーシップのもとで）提案した方策を実現するのが役割です。上の評価検討委員会でもそ

の役割が期待されています。

(3) 事業計画：期待に応え、長期的視点のもとで前進しよう
評価検討委員会での上記(2)期待に応え、さらにフォーラム自身の事業推進と長期展望策定をも前進させる事業として、本年度、田浦常任幹事をリーダーとするプロジェクトチームを組織し、以下の項目に取り組み成果を生み出すことを計画案のひとつとすることでまとまりました。

ア. 排出部門毎（例：産業部門/運輸部門/民生・家庭部門）、あるいは取組内容毎（例：KES/おひさま発電所/省エネラベル）の温室効果ガス排出削減効果の把握

イ. 2010年を節目の通過点と位置づけ、さらに長期的視点のもとで必要とされる大きな温室効果ガス排出削減を実現するための具体的方策（例：行政施策/民間事業者の取組/ライフスタイルの変革）の洗い出し

プロジェクトチームが生み出す本年度の活動成果については、随時、田浦プロジェクトチームリーダーを通じて地球温暖化対策評価検討委員会にフィードバックするとともに、フォーラム自身の来年度以降の継続的・具体的な事業へと引継ぎ発展させていきます。

○2007年度事業：脱温暖化行動キャンペーン

去る2月に実施した2006年度の脱温暖化行動キャンペーンは、これまで日本国内で行われたことのない実験的な取組を行うものでした。マイカーから公共交通機関への転換を促す取組と、リサイクルではなくリデュースへと人々の意識を転換させるレジ袋削減の取組は、この春には、ともに当フォーラムのキャンペーン期間の取組に留まらない広がりを見せつつあります。

そこで、この脱温暖化行動キャンペーンを更に発展させたかたちで今年度も実施することを計画案のひとつとすることでまとまりました。

●次回5月7日企画会議：WGプロジェクトについて検討

昨年度からフォーラム改革の一環としてWGの活動に関する予算をWG単位ではなく提案されたプロジェクト単位で措置することになりました。2007年度も、このかたちを継続します。このWGプロジェクトについては、現在、各WGからのプロジェクト提案書が出揃ったところです。はじめに述べたとおり、次回の企画会議において、各WGから提案されたプロジェクトの企画内容等を審査し、企画会議としての重み付けの考え方を整理する予定です。

次号の『月刊あじえんだ』でも、2007年度事業計画決定の動きをお伝えしますので、ご注目ください。

京エコロジーセンター開館5周年

4月22日 記念式典と「エコセンわいわいまつり」を開催

当フォーラムが事務所を置いている京エコロジーセンターは、「気候変動枠組条約第3回締約国会議（COP3）」の記念館、また環境学習と環境活動支援のための拠点として平成14年4月に開館しました。同センターは開館後、市民を中心にさまざまな主体とのパートナーシップを築き運営を進め、この4月21日で開館5周年を迎えました。

アースデー（地球のことを考える日）でもある4月22日（日）、同センターでは開館5周年を記念して、午前には記念式典と「エコ落語（桂吉弥さん）」、午後からは「みんなで祝う5周年！エコセンわいわいまつり」として「リサイクル体験 紙すき教室」「環境人形劇」「エコマートでお買物」「京エコシアター」「エコウッドカーリング」「環境紙芝居」「環境にやさしい電気をつくろう」「牛乳パックと残り布でつく

るカードケース」といった楽しい催しが開催されました。延べ1400人以上の大人と子供が集まって、にぎやかな一日となりました。

楽しい環境人形劇のひととき



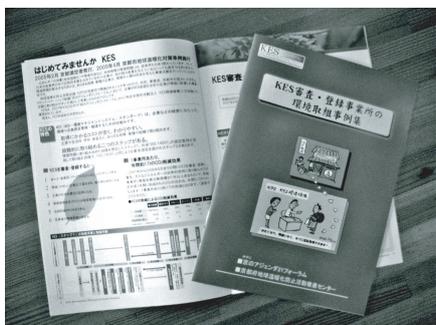


パンフレット『KES審査・登録事業所の環境取組事例集』完成 KES取得事業所の取組事例を41例紹介

企業活動WGの2006年度の取組のひとつ、KES・環境マネジメントシステムスタンダードを取得した事業所の紹介パンフレットが完成しました。全部で41の事業所のKES活動の内容や実績データを収録しています。

大きな企業では、自社の環境への取組を「環境活動報告書」として取りまとめ公表しているところが少なくありませんが、KESが主な対象としている中小の事業所では、それぞれが単独でその種の報告書をつくって公表することは負担が大きいということが言われていました。そこで、企業活動WGでは、多数の事業所の環境取組を集めた事例集を作成することで、個々の事業所の負担を小さくしながら各事業所に自己の環境への取組をPRするツールを提供し、またKES自体の一層の普及推進にも役立つこととし、今回のパンフレットを制作しました。

パンフレットはA4版20ページで、京都府地球温暖化防止活動推進センターを通じて環境省の補助も受け、1万部を作成しました。当フォーラム会員の皆さまには、今お読みの『月刊あじえんだ』に同封してお届けしますが、多数お入用の場合は、特定非営利活動法人（NPO法人）KES環境機構（連絡先は4ページ）までお問合せをお願いします。



『KES審査・登録事業所の環境取組事例集』

●パンフレット『KES審査・登録事業所の環境取組事例集』正誤表

パンフレット『KES審査・登録事業所の環境取組事例集』には下記の誤りがあります。お詫びし、訂正いたします。

■5ページ 株式会社 片山工務店

(誤) 同社連絡先
(正) 〒607-8422 京都市山科区御陵封ジ山町1番地9
TEL: 075-581-0338 FAX: 075-502-0814
URL: <http://www.so-dan.tv/ch/katayama/>
創立年月: 1973年

■12ページ 科研製薬株式会社 京都営業所

(誤) URL
(正) URL: <http://www.kaken.co.jp/>

(誤) 実績表
(正) 下表

	2004年度	2005年度	削減率(%)
電力消費量(万kWh)	251	236	6(28万円削減)
OA用紙(万枚)	44.4	37.8	15(4.1万円削減)
可燃ごみ(kg)	6,900	5,10	25

■13ページ 株式会社 松本電機製作所

(誤) KES取得番号 → (正) KES2-0914

■15ページ 公栄運輸株式会社

(誤) 郵便番号 → (正) 〒612-8246

助成金案内 環境取組を対象とした助成金情報を紹介します



京都市市民活動総合センターのウェブサイト以下に以下の助成金情報が掲載されています。他にもいろいろな助成金情報が掲載されていますので、ご活用ください。

<http://shimin.hitomachi-kyoto.jp/>

●公益信託富士フィルム・グリーンファンド

■2007年度FGF助成応募要項について:

公益信託富士フィルム・グリーンファンドは、自然保護をテーマとした日本初の民間企業による公益信託として1983年に設立され、これまでの間に87件の活動及び研究助成事業を行ってきました。本年も引き続き、活動及び研究助成事業を行います。

■応募資格:

1) 活動助成を申請するもの、または団体は身近な自然の

保全や、自然とのふれあいを積極的に行っていること
2) 研究助成を申請するものは、身近な自然環境の保全・活用の促進に関する具体的な研究や、ふれあいの場としての緑地の質的向上を目指した実証研究等を行っていること

■助成金額と件数: 3件程度、総額650万円を予定

■応募締切: 平成19年5月21日

■お問い合わせ先:

〒110-8676 東京都台東区下谷3-10-10
財団法人自然環境研究センター 公益信託 助成基金担当
電話: 03-5824-0960
FAX: 03-5824-0961
担当: 菟田(こもだ)・川瀬

■ホームページ:

<http://www.jwrc.or.jp/shintaku/2006koeki.htm#fgf>

事務局動静 4月 ～事務局スタッフの動きを報告します～



1日(日)	ベロタクシー運行区域撤廃	18日(水)	企画会議
	記念試乗会	19日(木)	幹事長報告
4日(水)	事務局会議	20日(金)	京都市自転車等駐車対策協議会
13日(金)	醍醐コミュニティバス運行		エコツーリズムWG 運営会議
	管理委員会	23日(月)	交通WG 運営会議
12日(月)	事務局会議	27日(金)	企業活動WG 運営会議
16日(月)	自然エネルギーWG		幹事会
	運営会議		



4月1日京都市役所機構改革

環境共生型都市・京都の実現に向け環境をあらゆる政策の基本に
総合企画局地球温暖化対策室が発足

4月1日、京都市役所では50年後、100年後の京都の将来を展望し、地球温暖化対策をはじめとする重要政策を強力に推進するための機構改革を実施しました。環境をあらゆる政策の基本とした環境共生型都市・京都の実現に向け、喫緊の課題である地球温暖化対策を強力に推進するための体制が整備されました。

(1) 地球環境政策監を設置

京都市地球温暖化対策条例に掲げた「2010年までに市内からの温室効果ガス排出量を1990年に比べて10%削減する」という当面の目標の達成に向けて、市民・事業者・環境保全活動団体等とのパートナーシップに基づく地球温暖化対策をより一層強力に推進するため、地球温暖化の防止に関する重要政策を統括する「地球環境政策監」が新たに設置されました。最初の同政策監には高橋修・前環境局長が任じられました。地球環境政策監は、危機管理監・広報監・サービス監・子育て支援政策監と並ぶもので、地球環境政策が京都市の市政推進にあたって極めて重要な領域として位置づけられていることを示します。

(2) 総合企画局地球温暖化対策室を設置

当フォーラムとの関係では、これまで事務局を受け持ってきた環境局地球温暖化対策課が総合企画局に移され、総合企画局地球温暖化対策室として重要性を増して再出発することになりました。同室（部相当の組織）は、これまで環境局地球環境政策部地球温暖化対策課が所管していた地球温暖化対策に関する事務を移管され、地球環境政策監の下で、地球温暖化対策に関する市役所全庁挙げての取組を一層強化します。

パートナーシップ組織である当フォーラムにとっても、重要なパートナーである京都市の担当部署がパワーアップすることは、『京のアジェンダ21』の推進やさらに長期的な視点での取組を考える上でも大いに期待の膨らむ機構改革です。

【総合企画局とは】

総合企画局は、京都市長のトップマネジメントを直接補佐するとともに、京都市の重要政策や施策の企画・立案を行い、さらには政策評価や事務事業評価等を活用しながら京都市の各部門の重要事務事業が総合的に推進できるようにする部局です。

地球温暖化対策が総合企画局に移管されたことで、都市計画や公共事業、産業・観光、また市民生活といった市政のあらゆる領域において、地球温暖化対策の視点のもとでの他の部局との連携がより緊密なものになることが期待されます。



4月2日 特定非営利活動法人 KES 環境機構発足 当フォーラムのKES 認証事業部がNPO法人化

2001年4月に設立された当フォーラムの「KES 認証事業部」ですが、審査・登録件数の増加に伴い、審査・登録機関としての社会的認知性や行政機関や事業者との業務の提携・委託などの事業推進上の必要性のため各方面から法人格取得の要請が強くなってきました。このため、昨年より認証事業部の法人化の準備を進めてきましたが、2007年4月2日付をもって「特定非営利活動法人（NPO法人）KES 環境機構」として生まれ変わりました。

今後ともフォーラムとKES 環境機構とは、企業活動WGを中心に、緊密な連携のもと、さまざまな取組を推進していきます。

＜連絡先＞

特定非営利活動法人 KES 環境機構

代表理事 内藤 正明

〒615-0801 京都市右京区西京極豆田町2番地

京都工業会館 2F

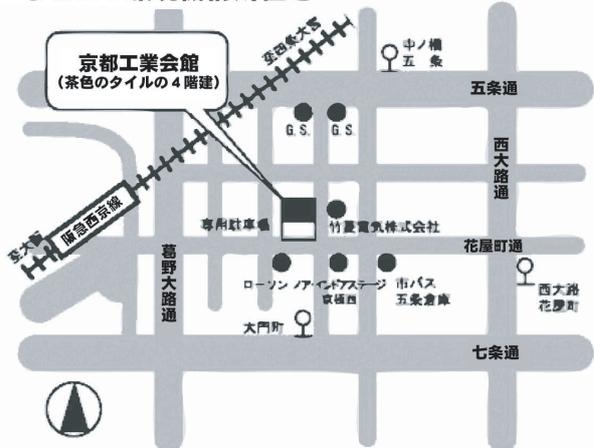
TEL : 075-323-6686 075-321-4767

FAX : 075-322-6901

E-mail : kes-ems@gol.com

※E-mail 以外はこれまでと変更ありません。

● KES 環境機構所在地



事務局短信 フォーラム事務所のある京エコロジーセンター活動支援室に、4月から京都市ごみ減量推進会議の事務局スタッフの方が4名常駐するようになりました。フォーラムのWGで活動実績のあるお祭り・イベントでのリユース食器導入など環境対策支援や、家庭での生ごみの堆肥化、地域での食の循環システム提案など、協力いただけそうなネタがたくさんあり、今後の連携が楽しみです。(竹村光世) / 『月刊あじえんだ』は毎月会員の皆様に投函宅配でお届けしています。今月号の同封物は企業活動WG (KES 事例集) と交通WG (交通ワーキングだより) からの提供です。今後もWGの活動紹介を充実させていきます。皆様、ぜひご興味のあるWG活動にご参加ください。(長谷川吉典) / (ロータリークラブの助成でドイツに1ヶ月間環境研修旅行中なので今回はお休みです) (小山直美)